

2019年度事業計画書

－2019年4月1日～2020年3月31日－

生命科学に係る科学技術の振興を目的として、以下の助成、褒賞、普及・啓発事業を行う。

I 助成事業

1. 研究開発助成

(1) 研究開発助成（国内）

生命科学にかかる科学技術に関する国内で実施される研究開発で、医療現場において新しい価値を提供する研究開発を支援する。募集期間は2019年4月～6月を予定。

1) 助成区分と対象及び助成金額

○特定研究開発助成

「新しい価値を提供する医療機器の研究開発」を指定テーマとし、1000万円/年を3年間の継続で助成する。採択数は1件。

○開発助成

下記の2つを指定領域とし、400万円/年/件を助成する。助成期間は1～3年まで選択できるものとし、採択数は併せて6件程度を目安とする。

- ・ 医療機器開発
- ・ 再生医療開発

○研究助成

下記の7領域を指定領域とし、200万円/件又は100万円/件（看護の研究、医療安全の研究）を助成する。助成期間は1年とし、採択数は併せて70件程度を目安とする。

- ・ 医療機器研究
- ・ 再生医療研究
- ・ バイオマテリアル研究
- ・ 生理活性物質・生体成分研究
- ・ 予防医療・健康寿命延伸研究
- ・ 看護の研究
- ・ 医療安全・レギュラトリーサイエンスの研究

2) 成果報告

研究終了後3カ月以内に研究報告書及び会計報告書の提出を課す。なお、特定研究開発助成及び開発助成の複数年助成については、中間報告をもとに継続審査を実施する。

3) その他

2020年3月に贈呈式を開催する。

(2) 研究開発助成（海外）

開発途上国で、医療、公衆衛生等の研究に携わる研究開発者に対し、その研究開発を支援する。募集期間は2019年5月～8月を予定。

1) 対象及び助成金額

開発途上国における、地域社会に貢献する医療、公衆衛生等の研究を対象とし、300万円/件までの申告額を助成する。助成期間は1年とし、採択数は3件程度を目安とする。

2) 成果報告

研究期間終了後3ヶ月以内に研究成果報告書及び会計報告書の提出を課す。また、2018年度採択のテーマについては中間報告の提出を課す。

2. 国際交流助成

生命科学にかかる科学技術に関する研究を目的として実施される研究集会に助成する。募集期間は2019年4月を予定。

(なお、2020年度募集分からは、年度上半期(4月～9月)に実施される研究集会と、下半期(10月～翌年3月)に実施される研究集会を分けて募集する。このため、2019年度中の2020年1月～2月に、2020年度上半期実施分の募集を行う予定)

1) 対象及び助成金額

2019年度に開催される生命科学にかかる分野の研究集会などを対象とし、その費用の一部を助成する。下記の区分に分けて募集を行う。助成金額は50万円以内/件とし、採択数は併せて40件程度を目安とする。

・ 集会助成

参加者300人以上の研究集会を対象とする。

・ 小規模研究会助成

参加者300人未満の研究集会を対象とする。(研究者の国際交流支援集会を含む。)

2) 成果報告

集会終了後3ヶ月以内の成果報告書及び会計報告書の提出を課す。

3. 医療貢献活動助成（医療・健康向上貢献事業助成より名称を変更）

国内および開発途上国（医療後進地域）における次の活動に助成する。募集期間は2019年5月～9月を予定。

1) 対象及び助成金額

国内において疾病・医療に関する普及啓発などの社会貢献活動を行う非営利団体および、開発途上国（医療後進地域）においてその地域の医療・保健の水準向上を目的に活動する団体に対し、100万円/件を助成する。助成期間は1年間とし、採択数は併せて15件程度を目安とする。

2) 成果報告

事業終了後3ヶ月以内の事業実績報告書および会計報告書の提出を課す。

II 褒賞事業：第8回テルモ財団賞

これまでに研究開発助成（国内）（特定研究開発助成を除く）を実施した研究テーマから年度ごとに領域を指定し、実績、独創性、将来性、すべての点で際立って優れた研究成果を上げたものを表彰する。募集期間は2019年4月～6月を予定。

1) 対象者

特定研究開発助成を除く研究開発助成（国内）の研究領域の内、以下の3つの研究領域の2014年度から2016年度までの採用分を対象とし、当該研究者の助成研究テーマ及びその後の関連研究テーマを含め最も優れた研究成果をもつ個人1名を顕彰する。副賞は500万円。

- ・ 治療のための医療機器・装置・ICT・素材の研究開発
- ・ 診断、介護のための医療機器・装置・ICT・素材の研究開発
- ・ 要素技術の研究

2) 表彰

贈呈式において表彰する。

III 普及・啓発事業

若い世代を対象に生命科学研究の魅力を伝える活動を展開する。

1. 中高生向け Web サイト「生命科学DOKI DOKI 研究室」

「いのちの不思議」を全体のテーマとし、下記の4つの企画を継続する。また、メディア等の媒体を活用しアクセス数アップを図る。

- ・ フクロウ博士の森の教室：テーマ「脳の不思議を考えよう」
- ・ いま注目の最先端研究・技術探索
- ・ 研究者インタビュー
- ・ これから研究の話しをしよう

2. サイエンスカフェ

全国の高校生30名程度を東京に招待し、7月26日・27日に実施する。協力施設はTWInsで、医学、工学およびその融合技術等を学んでもらう。

3. 単行本

過去のWebサイト掲載記事のまとめを中心とした単行本を発刊する。

以上

資金調達及び設備投資の見込みについて

公益財団法人 テルモ生命科学芸術財団

事業年度：2019年4月1日から2020年3月31日まで

(1) 資金調達の見込みについて

借入の予定	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし		
事業番号	借入先	金額	用途

(2) 設備投資（固定資産の取得）の見込みについて

設備投資の予定	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし		
事業番号	設備投資の内容	支出の予定額	資金調達方法

以上